

平成27年度標茶町病院事業会計決算審査意見

第1 審査の概要

1 審査の対象

平成27年度標茶町病院事業会計決算

2 審査の期間

平成28年6月22日

3 審査の書類

(1) 決算報告書

(2) 財務諸表

ア 損益計算書

イ 剰余金計算書

ウ 剰余金処分計算書

エ 貸借対照表

(3) 附属書類

ア 事業報告書

イ キャッシュ・フロー計算書

ウ 収益費用明細書

エ 固定資産明細書

オ 企業債明細書

4 審査の方法

審査にあたっては、送付を受けた決算報告書、財務諸表及び事業報告書等の附属書類について、関係諸帳簿の照合とともに、関係法令に準拠して作成され、当事業の経営成績並びに財政状況を適正に表示されているか否か、予算執行の適否等についても内容説明を求め審査を実施した。

第2 審査の結果

審査に付された決算報告書、財務諸表等は、関係法令に準拠して作成されており、決算の諸計算はいずれも正確であるとともに、平成28年3月31日現在における財政状況及び経営成績を適正に表示されているものと認められた。

財務事務については、総体として適正に執行されたものと認められる。

審査結果の概要は以下のとおりである。

1 予算執行状況

本年度の予算執行状況は次表のとおりである。

(1) 収益的収入及び支出について

収益的収支の状況

(単位：円・%)

区分	予算額	決算額	執行率		予算額に比べ決算額の増減・不用額	
			H27年度	H26年度		
収入	医業収益	720,183,000	(724,141,422) 719,709,698	(100.5) 99.9	(99.9) 99.1	(3,958,422) 473,302
	入院収益	301,530,000	(303,779,087) 303,779,087	(100.7) 100.7	(99.0) 99.0	(2,249,087) 2,249,087
	外来収益	205,125,000	(207,653,939) 207,639,081	(101.2) 101.2	(101.4) 101.4	(2,528,939) 2,514,081
	他会計負担金	153,009,000	(153,009,000) 153,009,000	(100.0) 100.0	(0.0) 0.0	(0) 0
	その他医業収益	60,519,000	(59,699,396) 55,282,530	(98.6) 91.3	(100.1) 92.7	(819,604) 5,236,470
	医業外収益	423,162,000	(364,162,831) 363,873,007	(86.1) 86.0	(92.3) 92.2	(58,999,169) 59,288,993
	受取利息配当金	4,561,000	(4,554,008) 4,554,008	(99.8) 99.8	(99.9) 99.9	(6,992) 6,992
	他会計補助金	128,060,000	(70,060,000) 70,060,000	(54.7) 54.7	(80.5) 80.5	(58,000,000) 58,000,000
	他会計負担金	279,240,000	(279,240,000) 279,240,000	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(0) 0
	患者外給食収益	2,160,000	(1,541,560) 1,427,370	(71.4) 66.1	(70.0) 64.8	(618,440) 732,630
	長期前受金戻入	5,207,000	(5,206,731) 5,206,731	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(269) 269
	その他医業外収益	3,934,000	(3,560,532) 3,384,898	(90.5) 86.0	(87.3) 83.2	(373,468) 549,102
	収入合計	1,143,345,000	(1,088,304,253) 1,083,582,705	(95.2) 94.8	(96.0) 95.6	(55,040,747) 59,762,295
支出	医業費用	1,099,281,000	(1,042,975,248) 1,022,245,423	(94.9) 93.0	(96.0) 94.2	(56,305,752) 77,035,577
	給与費	721,904,000	(694,788,873) 694,471,917	(96.2) 96.2	(97.0) 97.0	(27,115,127) 27,432,083
	材料費	120,000,000	(106,123,014) 98,262,050	(88.4) 81.9	(87.8) 81.3	(13,876,986) 21,737,950
	経費	182,999,000	(169,192,957) 156,912,429	(92.5) 85.7	(96.1) 89.2	(13,806,043) 26,086,571
	減価償却費	67,868,000	(67,865,893) 67,865,893	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(2,107) 2,107
	資産減耗費	1,100,000	(1,049,750) 1,049,750	(95.4) 95.4	(77.7) 77.7	(50,250) 50,250
	研究研修費	5,410,000	(3,954,761) 3,683,384	(73.1) 68.1	(78.8) 73.4	(1,455,239) 1,726,616
	医業外費用	43,564,000	(42,909,596) 60,935,716	(98.5) 139.9	(99.2) 131.8	(654,404) 17,371,716
	支払利息及び企業債取扱諸費	38,264,000	(38,262,396) 38,262,396	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(1,604) 1,604
	患者外給食材料費	1,800,000	(1,454,000) 1,346,296	(80.8) 74.8	(80.9) 74.9	(346,000) 453,704
	消費税及び地方消費税	3,500,000	(3,193,200) 3,193,200	(91.2) 91.2	(98.8) 98.8	(306,800) 306,800
	雑損失	0	(0) 18,133,824	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(0) 18,133,824
	予備費	500,000	(0) 0	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(500,000) 500,000
	特別損失	0	(0) 0	(0.0) 0.0	(92.7) 92.7	(0) 0
	支出合計	1,143,345,000	(1,085,884,844) 1,083,181,139	(95.0) 94.7	(96.0) 95.6	(57,460,156) 60,163,861
(差引額) 当年度純利益		(2,419,409) 401,566				

<注> 上段()内の数値並びに割合は消費税込の金額

本年度の予算執行状況は、収入においては予算額1,143,345,000円に対し、決算額は1,088,304,253円、執行率95.2%で、予算額に対し差引55,040,747円の減となっている。

支出については予算額1,143,345,000円に対し、決算額は1,085,884,844円で、執行率は95.0%である。

不用額57,460,156円の内訳は、医業費用では給与費、材料費、経費等で56,305,752円、医業外費用が654,404円、予備費は500,000円となっている。

(2) 資本的収入及び支出

収入においては、予算額100,020,000円に対し決算額は100,000,000円である。

支出については、予算額124,085,000円に対し、決算額は123,441,636円で執行率は99.5%である。支出額に対する収入額が23,441,636円不足しているが、この不足額は、減債積立金処分額で613,697円、過年度分損益勘定留保資金22,827,939円で補てんされている。支出の内容は、建設改良費30,095,317円、企業債償還金が93,346,319円となっている。

資本的収支の状況

(単位：円・%)

区分	予算額	決算額	執行率		予算に比べ決算額の増減及び不用額
			H27年度	H26年度	
収入	固定資産売却代金	20,000	(0)	(0.0)	(20,000)
			0	0.0	20,000
	投資	100,000,000	(100,000,000)	(100.0)	(0)
			100,000,000	100.0	0
資本的収入合計		100,020,000	(100,000,000)	(100.0)	(20,000)
			100,000,000	100.0	20,000
支出	建設改良費	30,738,000	(30,095,317)	(97.9)	(642,683)
			28,077,474	91.3	2,660,526
	企業債償還金	93,347,000	(93,346,319)	(100.0)	(681)
			93,346,319	100.0	681
資本的支出合計		124,085,000	(123,441,636)	(99.5)	(643,364)
			121,423,793	97.9	2,661,207
差引額			(23,441,636)		
			21,423,793		

<注> 上段()内の数値並びに割合は消費税込の金額

(3) その他の予算事項

地方公営企業法施行令第17条に規定する予算に係る主な事項の執行状況は次のとおりである。

ア 起債の利率及び償還の方法は、予算に定められた範囲で執行されている。なお、本年度において企業債は発行されていない。

イ 議会の議決を経なければ流用することのできない経費は、給与費721,904,000円、交際費1,200,000円であるが、いずれも予算の範囲内で執行されている。

ウ 他会計からの繰入金

一般会計から補助、負担を受ける予算金額560,309,000円に対し、決算額は502,309,000円で、いずれも予算の範囲内で執行されている。

2 経営状況

(1) 経営成績

損益計算書に示されているとおり(記述並びに図表の数値は消費税抜きの金額で表示しています。)本年度の総収益は1,083,582,705円、総費用1,083,181,139円で純利益401,566円を計上している。

収益、費用を前年度と比較すると、総収益は43,237,533円の減、総費用も43,025,402円の減となり、純利益は前年度より212,131円の減となっている。

医業収支でみると収益719,709,698円に対し、費用は1,022,245,423円で差引302,535,725円の医業収益不足となる。

当年度利益余剰金は、401,566円が計上された。

なお、経営成績及び主な利益指標の推移は次のとおりである。

経営成績の推移

(単位：円・%)

区分	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
総収益	1,083,582,705	1,126,820,238	1,147,420,269	1,171,870,918	1,158,814,878
うち医業収益	719,709,698	576,672,809	592,204,291	707,252,912	663,047,327
総費用	1,083,181,139	1,126,206,541	1,146,924,380	1,159,398,902	1,143,199,687
うち医業費用	1,022,245,423	1,033,461,344	1,082,023,598	1,097,659,822	1,077,051,251
当年度純利益	401,566	613,697	495,889	12,472,016	15,615,191
前年度繰越欠損金	-	-	-	12,147,387	27,762,578
当年度未処理欠損金	-	-	-	-	12,147,387
当年度利益剰余金	401,566	613,697	495,889	324,629	-
経常収支比率	100.0	100.1	100.0	101.1	101.4
医業収支比率	70.4	55.8	54.7	64.4	61.6

(数値は消費税抜き)

(2) 業務量(患者数)の状況

患者数は、入院患者が年間延べ11,425人で1日平均31.2人、前年度と比較すると809人減少し、外来患者数は年間33,240人で1日平均136.8人、前年度と比較すると409人の減少となっている。

病床利用状況は、利用率52.0%で前年度と比較すると3.9%減少している。

患者一人当たりの診療収入は、入院患者が26,589円で前年度と比較すると203円の増加、外来患者は6,247円で前年度と比較すると390円の増加であった。

ア 診療日数

区分	平成27年度(A)	平成26年度(B)	差引(A)-(B)
入院	366	365	1
外来	243	245	2

イ 入院患者数

(単位:人)

区分	平成27年度(A)		平成26年度(B)		差引(A)-(B)	
	延べ数	1日平均	延べ数	1日平均	延べ数	1日平均
内科	10,670	29.1	11,532	31.6	862	2.5
外科	755	2.1	698	1.9	57	0.2
産婦人科	0	0.0	4	0.0	4	0.0
合計	11,425	31.2	12,234	33.5	809	2.3

ウ 病床の利用状況

* 病床は全て一般病床

区分	平成27年度(A)	平成26年度(B)	差引(A)-(B)
病床数(床)	60	60	0
年間延病床数(床)	21,960	21,900	60
年間患者数(人)	11,425	12,234	809
病床利用率(%)	52.0	55.9	3.9

エ 外来患者数

(単位:人)

区分	平成27年度(A)		平成26年度(B)		差引(A)-(B)	
	延べ数	1日平均	延べ数	1日平均	延べ数	1日平均
内科	23,369	96.2	23,500	95.9	131	0.3
外科	8,006	32.9	8,404	34.3	398	1.4
産婦人科	649	2.7	672	2.7	23	0.0
小児科	1,216	5.0	1,073	4.4	143	0.6
合計	33,240	136.8	33,649	137.3	409	0.5

オ 患者一人1日当り診療収入

(単位:円)

区分	平成27年度(A)	平成26年度(B)	差引(A)-(B)
入院	26,589	26,386	203
外来	6,247	5,857	390

(3) 収益

本年度の総収益は、1,083,582,705円で、前年度1,126,820,238円に比較すると43,237,533円の減少となった。

内容は、医業収益が719,709,698円で前年度576,672,809円に比較し、143,036,889円の増となっている。主なものは、他会計負担金で153,009,000円の増であった。

医業外収益363,873,007円は、前年度550,147,429円に比較し、186,274,422円の減となっている。これは主に他会計補助金115,419,000円の減、他会計負担金70,855,000円の減によるものである。また、昨年度からの会計制度見直しに伴い、補助金等で取得した資産は長期前受金に整理され、当該減価償却見合分を収益化するための措置額として昨年同額の5,206,731円を計上している。

収益の内訳

(単位:円・%・消費税抜き)

区分	平成27年度(A)		平成26年度(B)		差引(A)-(B)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年比
医業収益	719,709,698	66.4	576,672,809	51.2	143,036,889	124.8
入院収益	303,779,087	28.0	322,803,040	28.7	19,023,953	94.1
外来収益	207,639,081	19.2	197,082,532	17.5	10,556,549	105.4
他会計負担金	153,009,000	14.1	0	0.0	153,009,000	皆増
その他医業収益	55,282,530	5.1	56,787,237	5.0	1,504,707	97.4
医業外収益	363,873,007	33.6	550,147,429	48.8	186,274,422	66.1
受取利息配当金	4,554,008	0.4	4,841,000	0.4	286,992	94.1
他会計補助金	70,060,000	6.5	185,479,000	16.4	115,419,000	37.8
他会計負担金	279,240,000	25.8	350,095,000	31.1	70,855,000	79.8
患者外給食収益	1,427,370	0.1	1,399,259	0.1	28,111	102.0
長期前受金戻入	5,206,731	0.5	5,206,731	0.5	0	100.0
その他医業外収益	3,384,898	0.3	3,126,439	0.3	258,459	108.3
総収益	1,083,582,705	100.0	1,126,820,238	100.0	43,237,533	96.2

(4) 費用

総費用は、1,083,181,139円で前年度1,126,206,541円に比較すると43,025,402円の減少となった。

内容は、医業費用が1,022,245,423円で前年度1,033,461,344円に比較し、11,215,921円の減となっている。これは主に給与費18,941,955円の減、経費11,198,067円の増、減価償却費4,794,872円の減によるものである。医業外費用は60,935,716円で前年度61,722,914円に比較し、787,198円の減となっている。これは主に支払利息及び企業債取扱諸費で3,168,806円の減、雑損失2,746,286円の増によるものである。また、特別損失のその他特別損失は0円である。

費用の内訳

(単位：円・%・消費税抜き)

区分	平成27年度(A)		平成26年度(B)		差引(A)-(B)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年比
医業費用	1,022,245,423	94.4	1,033,461,344	91.8	11,215,921	98.9
給与費	694,471,917	64.1	713,413,872	63.3	18,941,955	97.3
材料費	98,262,050	9.1	97,525,740	8.7	736,310	100.8
経費	156,912,429	14.5	145,714,362	12.9	11,198,067	107.7
減価償却費	67,865,893	6.3	72,660,765	6.5	4,794,872	93.4
資産減耗費	1,049,750	0.1	174,850	0.0	874,900	600.4
研究研修費	3,683,384	0.3	3,971,755	0.4	288,371	92.7
医業外費用	60,935,716	5.6	61,722,914	5.5	787,198	98.7
支払利息及び企業債取扱諸費	38,262,396	3.5	41,431,202	3.7	3,168,806	92.4
患者外給食材料費	1,346,296	0.1	1,349,074	0.1	2,778	99.8
消費税及び地方消費税	3,193,200	0.3	3,555,100	0.3	361,900	89.8
雑損失	18,133,824	1.7	15,387,538	1.4	2,746,286	117.8
特別損失	0	0.0	31,022,283	2.7	31,022,283	0.0
その他特別損失	0	0.0	31,022,283	2.7	31,022,283	0.0
総費用	1,083,181,139	100.0	1,126,206,541	100.0	43,025,402	96.2

3 財政状況

貸借対照表に示されている資産、負債、資本の内容は次のとおりである。(記述の数値は消費税抜きで表示しています。)

<資産>

本年度の資産総額は、2,323,297,663円で、前年度2,403,908,421円に比較し、80,610,758円減少した。

総資産のうち有形固定資産は、土地、建物、構築物、器械・備品、車両、リース資産で1,754,795,650円、前年度1,797,913,498円と比較して43,117,848円の減少である。無形固定資産は電話加入権388,032円、投資は一般会計の長期貸付金で400,000,000円、長期貸付金償還金で100,000,000円の合計300,000,000円で、固定資産の合計額は2,055,183,682円となった。

流動資産の合計は268,113,981円で、前年度205,606,891円に比較し62,507,090円の増加である。内訳は、現金・預金は50,941,283円の増、未収金は8,667,586円の増となっている。

<負債>

負債合計1,337,682,029円は、前年度1,418,694,353円に比較し81,012,324円減少している。

<資本>

資本金は、自己資本金で981,907,068円である。

剰余金は、資本剰余金が3,307,000円で前年度3,307,000円と同額で、利益剰余金が401,566円で前年度613,697円に比較し212,131円減となり、剰余金合計は3,708,566円となっている。

むすび

以上、予算執行、経営状況、財政状況にわたる計数の表示と所見を述べてまいりましたが、総括として次のとおり審査結果意見を申し上げます。

平成27年度病院事業は、町民の健康保持に必要な医療を提供するため、内科、外科、産婦人科、小児科、リハビリテーション科により、その経営に当たっている。

当年度の業務量は、入院延患者数11,415人(前年度12,234人)、外来延患者数33,240人(前年度33,649人)で、前年度と比較すると入院は809人の減少、外来で409人の減少となった。

これらに従事する職員は、平成28年3月31日現在、91人(内30人は臨時・非常勤職員)で、前年度比較では3人の増員であった。

経営成績は、総収益1,083,582,705円、総費用1,083,181,139円で差引純利益401,566円が計上された。

医業収支では、医業収益719,709,698円、医業費用1,022,245,423円で、差引302,535,725円費用が上回っているが、一般会計からの補助金と負担金349,300,000円(前年度535,574,000円)を主なものとする医業外収益によって、当年度純利益401,566円が計上され、減債積立金として処分された。

医業収益は、前年度対比124.8%であり、これは従来救急医療確保に要する経費の負担金153,009,000円を医業外収益に計上していたが、今年度からは、医業収益に計上したのが大きな要因である。実質は、この負担金を除くと98.3%で入院患者数の減少が主である。

医業費用は、前年度対比98.9%で人件費等の減少が主である。

医業収支は、患者数、入院基本料等の変動がより大きく影響を及ぼすことから、医師、看護師、病院職員が一丸となって医業収益の確保、更には病院経営の安定に引続き努力されることを期待する。

資本的収支については、器械、備品購入、企業債償還金等の資本的支出額123,441,636円執行され、資本的収入額は貸付金100,000,000円の償還金で充当し、不足額23,441,636円は過年度分損益勘定留保資金22,827,939円、減債積立金処分量613,697円で補てんされている。

自治体病院を取り巻く医療環境は、医師及び看護師の確保、診療報酬改定等で厳しい状況にありますが、自治体病院は「地域住民の命、健康、暮らしを守る」地域の財産であることから、病院関係者をはじめ行政や住民が一体となって安心して受診できる病院づくりに取組み、住民の期待に応えることができるよう、一層の経営努力を望む。